



自然大好き、絵本大好き、
集まれ～!

村上康成の世界展

絵本表現へのチャレンジING & ワイルド・ライフ・アート



2020.10.3 土 → 11.15 日 入場無料

刈谷市美術館 Kariya City Art Museum

会場=刈谷市美術館 開館時間=9:00-17:00(入館は16:30まで) 休館日=月曜日

主催=刈谷市美術館 後援=愛知県教育委員会 協力=絵本塾出版、偕成社、教育画劇、くもん出版、公益財団法人森林文化協会、公益財団法人日本野鳥の会、公益社団法人日本キャンプ協会、佼成出版社、講談社、小峰書店、小学館、鈴木出版、チャイルド本社、童心社、徳間書店、PHP研究所、BL出版、ひかりのくに、ひさかたチャイルド、復刊ドットコム、フレーベル館、ポプラ社、理論社

自然大好き、
絵本大好き、
集まれ～!

村上康成の世界展

絵本表現へのチャレンジING&ワイルド・ライフ・アート

「水ぎわ族」を自認する自然派アーティスト・村上康成(1955-、岐阜県出身)。彼が描き出す絵本をめぐっていくと…。澄み渡る空、そよ吹く風、清流を泳ぐヤマメたち。観ているわたしたちは、村上ならではの、ゆるやかな空間に誘い込まれ、やがて物語の主人公へとかわっていくようです。

村上は、幼い頃から川遊びを楽しみ、魚釣りが大好きで、愛知県立芸術大学時代にはヨットに明け暮れ、三河・三谷の海風に染まりました。以来、自身に染み込む自然界のリアリティーにもとづき、絵本表現を追求し続けています。シンプルな色と形、躍動感のあるページ展開、余白を生かした独特な画面構成。それが村上絵本の醍醐味です。

本展は、『ピンク!パール!』などの人気の「ヤマメのピンクシリーズ」をはじめ、初期から最新作『まっぴーの。』の絵本原画、タブローなど約300点で構成する本格的な展覧会です。貴重な学生時代の作品、雑誌の表紙やグッズの仕事も網羅し、村上の世界をご紹介します。子どもたちに楽しんで欲しい、思い切り自然を体感できる絶好の機会です。



「キンダーブック3」11月号
2006年



「チャイルドブック・ゴールド」10月号
1992年



絵本「さつまのおいも」原画 1995年



単行本「村上康成のイラストエッセイ 水ぎわの珍プレー」原画 2018年



絵本「石のきもち」原画 2010年



絵本「ぞうさんうんちしょうてんがい」原画 2019年



タブロー《風のアルバトロス》2019年 個人蔵



オリジナルグッズ



村上康成さん
photo by Yoshio Tanioka

会期中のイベント

① ワークショップ 要事前申込

「だいすきな生きものをアートしちゃおう!」

10月17日[土] 13:00-15:30

講師=村上康成さん

会場=第2展示室 対象=小学生 定員=15名

参加費=1人 500円

しめきり=10月2日[金] 必着

【申込方法】

往復はがきの「往信用裏面」に、イベント名・参加希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を記入して、お申し込みください。

*申込者が定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします
*1組1通のみ有効

▶申込先 〒448-0852 刈谷市住吉町4-5 刈谷市美術館

② 講演会

「絵本の力、人の力~自然の歌をききながら」

11月1日[日] 13:30-15:00(13:00開場)

講師=村上康成さん

会場=第2展示室 定員=40名 *先着順、参加無料

③ 学芸員によるギャラリー・トーク

10月10日[土]・11月3日[火・祝] 14:00~1時間程度

*参加無料

【交通のご案内】



【電車】JR東海道本線・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口から徒歩約10分 *「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約20分

【車】名古屋方面より:国道23号線(知立バイパス)「一ツ木IC」から約5km *駐車場あり(無料60台)

刈谷市美術館

Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5

Tel. 0566-23-1636 Fax. 0566-26-0511

<https://www.city.kariya.lg.jp/museum/>

◎周辺情報 市制70周年記念企画展

「徳川家康の遺産~徳川美術館所蔵品で綴る~」(10.3-11.15)
刈谷市歴史博物館 [一般500円、中学生以下無料]

今後の新型コロナウイルス感染症の広がりなどの状況によっては、変更になる場合があります。ご来館の前にはホームページ等で最新の情報をご確認ください。